国立国会図書館　　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

信州善光寺観音掛茶雑食橋果

十返舎一九作

歌川国直画

卯初春

前

鶴喜版

前

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

信濃國水澤觀音利益雜食橋来由奘語

信濃国水沢山八天平勝宝年中行基菩薩の開基ありて大同年中田村
将軍中興乃建立なりさぞ金堂瑠璃殿の正観音八行基菩薩ノ作千手観音
八田村先の田ノ中ノ鉢の守本尊なりと云傳ふ疫癘を除きまた夫婦愛敬の願其
外萬徳の尊容なりさぞ一誓に限らざれば何ぞも祈る応験ありとの事
なり中堂救世殿の側に恐ぶ杉とのふ大木あり此杉男女の密会ぶ
願ひをきくとぞ講堂乃阿遮羅王八弘法大師ノ作佛なり境内に雄鳥
羽の滝あり人此滝に浴すれば色黒きもの純白となり醜きものも容皃
羅数なるとぶふ當山ノ外ノ澤寺とのふ八ノの字に誤りて一
點をうつ澤寺となりくるるらめ予ひとせ當国に遊歴し當
寺に寄宿し囲炉裏乃燈火に若僧どもノ茶のこぐさを聞なる
侭ここに誌しておくれ新撰とあるを事その程

文政二卯春　東都　十返舎一九題(貞)

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

神佛之怪證

水澤山詠歌

多武の峯
あら磯もきえ
なづまたむとぬ
みちのひを

○本澤右衛守之助信芳

○逆臣 鐘山嵐 右藤太景連

乃至
童子
戯聚沙
為佛塔如是
諸人等皆已成佛道

○城山之義女 忍姫

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

○寂莫法印悲霊
信州光明山の梵に
寂莫法印といふ
者あり。性
貪欲
邪
智深く
盗を
なす人
村鄙の
愚民を
惑し
過るの

金銭を
掠めとらん人の
邪曲を企つるに
合体して諸人
に害をなす事
数多ありて終に其身
横死もるに至つても猶悪
心止ず梓川雑食橋造立の
砌そこく霊魂信心の功徳を
悪む諸乃妨をなすこと
口聞に残りいるしを同傳えるく此書に
附會するのみなり

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

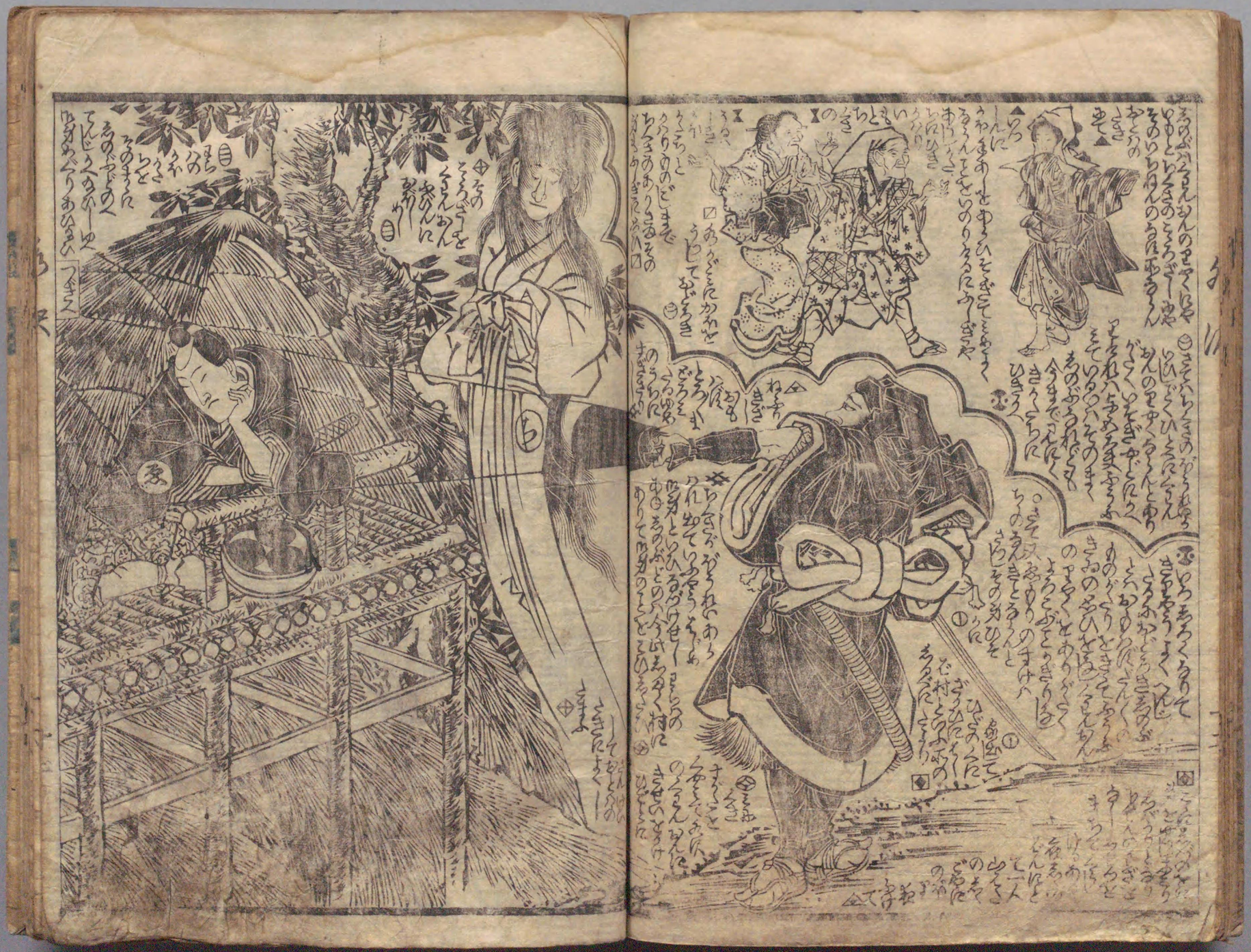
三の巻

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

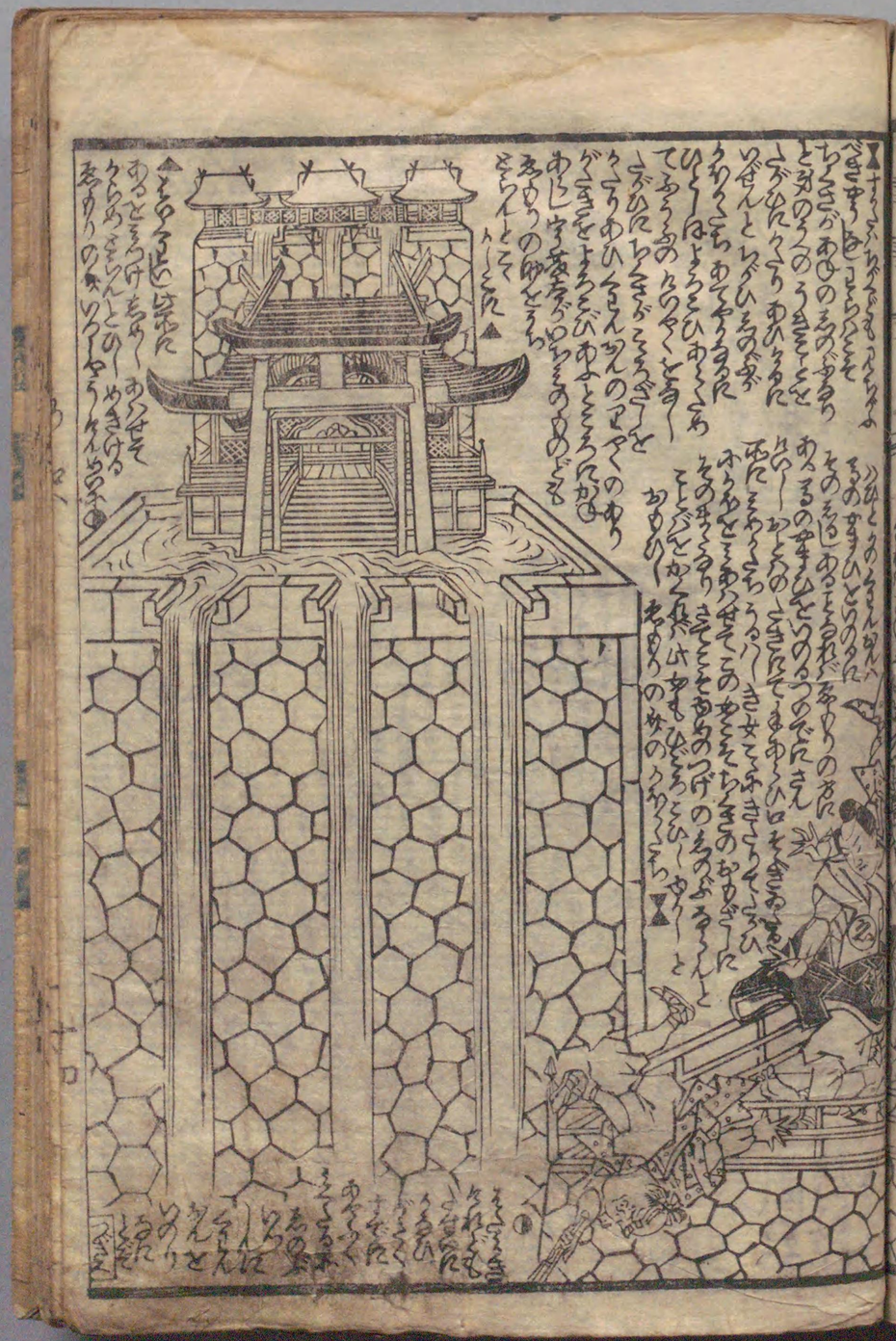
国立国会図書館　　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用



国立国会図書館　　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用



国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

信州水沢観音和盛雑食橋由来

十返舎一九作

歌川国直画

卯初春

後

鶴喜版

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

信州梓川雑食橋圖

鳩ノ村ものゝ食物を賣ると云ふ今其義を聞くに云々

飛騨海道

端場村

御番所

雑食橋

蛇橋

鳩ノ村

水澤道

七曲り

鍵掛

切通シ

雑食橋　長サ七間　橋下十三間

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用

207
878

玄同放言

著作堂
隨筆

大本全六巻　初版二巻人の部よく出来

あの書ハ天地人物人事植物器財動物雑篇とそれ〴〵部門を建ふこと謝肇淛が五雑俎のごく部毎に故事を引据しかれバ彼臆断杜撰乃冗籍前日時好ふ媚ふ草紙物語と地口ばかり作者近年多病よりにく杖を策庭の外にも旦客を辞をふせ久しくこもり今その書をあらためて友と晤譚にのそみ一ト巻ごとに筆を閉くやいなや又巻を開くやいなや一ト巻ごとに幼学有益の書といふべし　仙鶴堂識

諏訪御柱傳記

全六冊　近刻

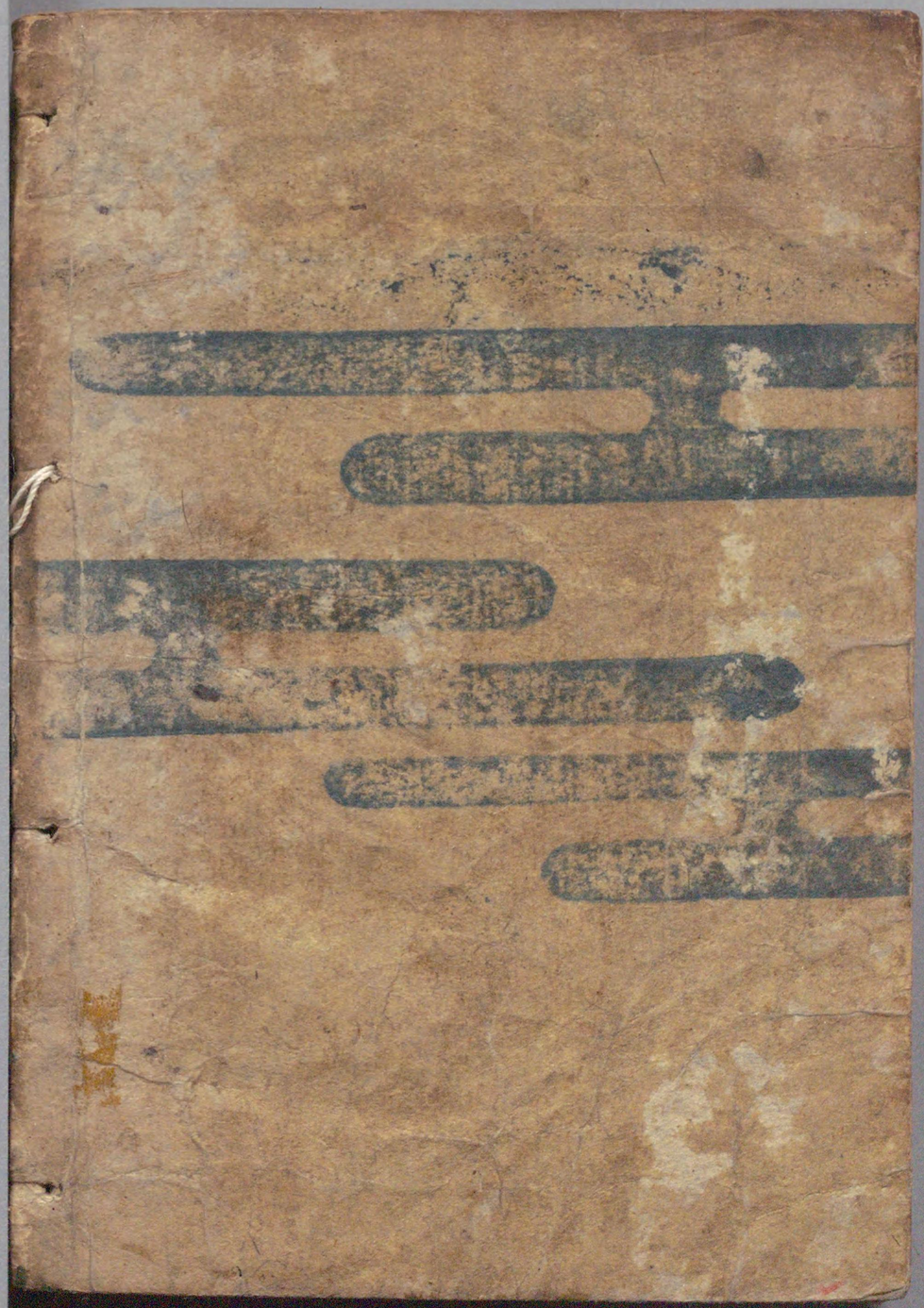
絵列伝記の例あり抜ずりの経緯多端多の事由をくわしくあらわせり

十返舎一九著編

江都　十返舎一九著

歌川國直畫

国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875
ガラス使用



国立国会図書館　雑食橋由来 前編3巻後編3巻 207-875

ガラス使用